

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	23-3
PDCA	主要事業名		道路環境美化事業		部課名		建設部土木課			担当	加古
										内線	434
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 30,622 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 07.02.02.02.53				
	事業概要等		事業概要： 市内一円の市管理道路について、快適な住環境の創出と安全性の確保のため、除草委託および雑草防止対策を実施する。								
			事業目的： 市内一円の市管理道路について、快適な住環境の創出と安全性の確保								
			事業内容： 市内一円の除草委託および雑草防止対策工事								
			問題点・課題等： 施工時期の調整								
	予算額		主要事業とする理由								
	30,622 千円		快適な住環境を創出し、道路利用者の安全を確保するため、除草及び雑草防止対策を実施する必要がある。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	30,622 千円		快適な住環境の創出や道路利用者の安全を確保することができる。								
	国費										
	0 千円		目標値や目指すべき状態								
	県費		防草対策箇所数		実績値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
目標値					6	5	—	か所			
その他				実績値		6	5	3	か所		
				目標値							
0 千円				実績値							
				目標値							

D 実績値	決算額	得られた成果									
	30,428 千円	市の管理する道路用地の除草及び防草対策を行うことで、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。									
	財源内訳										
	成果指標							令和4年度	単位		
	防草対策箇所数					実績値		3	か所		
						目標値		3	か所		
	C 課題の整理	事業の評価・課題	市内一円の道路用地の定期的な樹木等管理委託4件と3箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。防草対策後には草の繁茂が再発しないよう対策実施箇所の経過観察を行い、必要に応じた改善を行いながら防草効果を継続させる必要がある。								
		B									
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。									
	観点別評価	必要性		有効性				効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献		大きい	⑦コスト削減		ある		
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地		ある	余地		※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無		ない	⑧受益者負担適正化余地		—		

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用